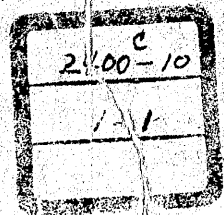


電子複写不可

独混史實資料 (一)

防衛研修所戰史室



(一) 獨混史實資料

獨立混成第四十四旅司令部

獨立混成第十五聯隊

獨立混成第十五聯隊第一大隊

獨立混成第十五聯隊第二大隊

獨立混成第十五聯隊第三大隊

獨立混成第二步兵隊本部

本隊是刑查中

印備方面
以信用復製
馬下

了

冲繩作戰終止
独立混成第4旅團
史実資料

昭和三十年三月二十五日
第三軍残務整理部

独立混成中四旅團戦闘経過概要

一 作戦準備期向行動概要

自昭和十九年五月
至昭和十九年三月

旅團八沖繩守備部隊トナリ首里附近ニテリタル天カハニ島、矢留ニ續ク
中新太平洋方面、情況ニ鑑ミ七月初旬第九師團次ヲ中四師團、沖繩本島
増強シテ喜望手納地区ニ移動シ更ニ八月初旬中四師團、到着ト共ニ名護
附近ニ移動シ頭支隊トナル敵、レイテ上陸ヲ比島方面、情勢緊迫化伴
ニ本島ヲ中四師團ヲ南方ニ轉用セラルルモ決シテ南群ニ旅團主力ハ十二
月一日中頭地区ニ移シ中頭守備部隊トナル

昭和十九年二月敵、本島ニ対シ策動濃化ト共ニ軍作戦方針決定セラレ也
島尻ニ移シ知念半島ヲ確保スルト共ニ北正面ヲ不敵ニ攻撃シ對シテ八章ノ
予備トシテ隨時出陣シ得ル如ク待機セシメラル

旅團八漆川正面ヲスル敵、主上陸ニ對シテ強固ナル陣地ヲ構築スルト共ニ中域
湾及知念半島方面ヲ不敵ニ一新ノ敵、上陸ニ對シテ之ヲ水際ニ撃滅ス知陣
備ス

戰鬥用船前部六六旅團、備或左如之

独之混成中隊四旅團長 少將 鈴木繁二

隷下部隊 旅團司令部

独之混成中隊五聯隊 長大佐 美田千賀藏

第三步兵隊中隊 長大尉 尾崎源一

旅團砲兵隊 長大尉 原秀雄

旅團工兵隊 長大尉 村中福次

指揮下部隊

野戰重砲兵中隊 長大佐 樋口良彦

砲兵中隊三聯隊 長少佐 大島

独之速射砲中隊 長少佐 中島好生

独之才二大隊 長

独之才三大隊 長 獨之才二十九大隊 長大尉 中本

海軍才 砲台 長

獨之才三聯隊司令部

三北正面轉進区、戰鬥經過、概要

自三月二十三日 至四月二十日

敵機動部隊八連隊二十三日午前朝未大進軍空襲シ次テ三日午前九時頃 係、漆川及知念半島ニ対シ最初、艦砲射撃ヲ實施スリ其主射向漆川 志堅原カチヤ原知念岬附近ニテ是射撃速度比較的緩慢ナリ

三月二十三日連日激撃及艦砲射撃ヲ受テ二十七日二十八日西日三度リシハ、 頃、漆川正面ニ対シ露骨ナル上陸企圖ヲ示セル旅團ハ滿ヲ持テ放タズ 嚴戒ヲ待機ス、敵三月二十五日度食河列島ニ上陸シ次テ三月三十一日前 島及三神山島ニ上陸ス

四月一日遂ニ敵北谷方面ニ中飛行場正面ニ対シ上陸ヲ開始シ其兵力三万 至四師トシテ、如シ

旅團ハ依然知念半島ヲ確保スルニ特ニ敵、漆川正面ニ対シ上陸ニ対シテハ

軍砲兵、絶大ナル支援射撃及チニテ四師團ノ緊密ナル協力ノ下ニテ陸地兵ニ於テ撃破スルハ満々ナル自信ヲ有シアリタリ

四月廿日敵ハ北正面東西海岸道ニ逐次南下シ我ガキニテ師團主陣地帯下接戦スニ至ル 軍ハ四月廿日ヲ期シ交戦ニ轉スルハ内示セル師團ハ轉進計圖ノ内連幸地附近ニ司令部ヲ置地ノ偵察等夫々準備スル所アリ

又北海岸川正面ニ對シ敵ハ上陸全圖益々露骨ニシテ猛烈ナル艦砲射撃ヲ接獲下早朝上陸用舟艇係一連幕ヲ構式シテ奥武島附近ニ逐次接スル等敵ハ上陸ハ兆濃化セリ

獨ニ赤兵才ニテ大隊ヲ配属セラレ目取附近ニ位置セシムル師團ハ東海岸直リ此那厚方向ニ南下スル敵ニ對シハ中ニ赤兵隊才ニ歩兵隊以下尾隊大隊ノ稱ヲ以テ西元陣地據リ之ヲ全兵力(独混十五聯隊ニ箇大隊独混之大隊ニテ大隊独混之赤兵二箇大隊旅團砲兵隊旅團二兵隊)ヲ以テ軍砲兵及チニテ四師團下接戦ニ協力シテ強力且ツ揮力性アル夜襲依リ敵ヲ上陸地兵ニ於テ撃滅スルヤク計畫セリ

四月廿日ニシテ約二一三〇ノ敵ハ津堅島ニ上陸セリ津堅好備隊(重砲才七聯隊、一隊隊独混十五聯隊ノ赤兵一小隊)ハ拂院ニテ撃退セリ

四月廿日軍攻勢命令ハ中止セラレ北正面ノ状況ニ鑑ミ独混之赤兵才ニテ大隊ハ新辰ニ復歸セシメラル

四月廿日七三〇津堅島ニ約五一〇〇ノ敵ハ上陸セリ

四月十三日船舶工兵才ニテ三聯隊ヲ曹長ノ指揮スル二組挺身斬入隊ヲ海上津霸附近ノ敵軍砲台追撃砲陣地ヲ求メテ奇襲セシメ成功ス

津堅島ニ對シ奇襲ハ舟艇撃沈セラレ不成功ニ終レリ

津堅島ヲ一浦院杜絶ス(玉員斬入ヲ敢行セルニヨリ)

四月十三日津堅島ノ敵ヲ撃退ス津堅砲台(野砲一十二連加三)ハ既ニ自爆セシメタルヲ以テ旅團ハ負傷者ヲ收容スルト共ニ残存兵力ヲ勝連半島ニ上陸セシメ敵ハ後方攪乱ニ任セシム

四月十八日敵ハ知名岬砲台附近ノ断崖ヲ艦砲及空爆ニ依リ破壊シ是ヲ視眺ス

四月十九日敵ハ朝来岬ヲ攻撃シ轉シタルモ我々撃テ四月二十三日頃挫ス

一連完
別の日
五月陽

野中司令官は師團主力を北正面に移動し、南に旅團を在り、海軍部隊との協力の島尻を確保し、軍主力をカシテ後顧を憂はるるコトナリ
四月二十日、旅團は辰塚大隊(独運射砲中隊)を現在地(西之陣地)西岸福領地
に移動し、各部隊は十五軒隊を一大隊(野塚大隊)と稱す。独之中隊は一大隊(八中隊)師團
指揮に入り、夫々天久及馬場に向ふ前進ス

三、北正面戦斗加入了五月四日攻勢の概要 自四月二十一日
至五月五日

四月二十日、旅團は辰塚大隊(独運射砲中隊)を現在地(西之陣地)西岸福領地
に移動し、各部隊は十五軒隊を一大隊(野塚大隊)と稱す。独之中隊は一大隊(八中隊)師團
指揮に入り、夫々天久及馬場に向ふ前進ス
旅團は独混中隊十五軒隊を右地区隊に編隊し、松川に新指揮を入れる平賀
部隊を左地区隊(本都壺屋町)船舶兵中隊を十五軒隊(本都長堂)を南地区隊に
編隊し、旅團砲兵隊を馬場旅團砲兵隊に編隊し、夫々天久及馬場に向ふ前進ス
独之運射砲中隊は一大隊(中隊)を右地区隊長に指揮し、入らシム

先づ中隊の師團長に指揮を委ね、野塚大隊は独混中隊十五軒隊長に隷下し、復
独之中隊は一大隊(中隊)を右地区隊長に隷下し、旅團直轄トナリ
四月二十日、旅團は辰塚大隊(独運射砲中隊)を現在地(西之陣地)西岸福領地
に移動し、各部隊は十五軒隊を一大隊(野塚大隊)と稱す。独之中隊は一大隊(八中隊)師團
指揮に入り、夫々天久及馬場に向ふ前進ス

四月十九日、軍は五月四日期に總攻撃を轉じて決ス
五月一日、旅團は首里以西、那原街道以南、凹地を集結し、トナリ旅團司令部
八中隊及隣接兵團に密接し、連絡を保持し、首里軍司令部洞窟を三前進
ス。茲に旅團司令部は師團司令部及旅團司令部同一箇所に開設セ
ラレタリ。船舶兵中隊を十五軒隊に指揮し、其の主力を以て中頭方面に
海上挺進セシメラル。平賀部隊は独之中隊を一大隊(八中隊)師團長に指揮し、
入ル辰塚大隊(角)に隷下し、復歸し、嶺を嶺西南側凹地に集結シ、命令ス
旅團主力は右側凹地に旅團砲兵司令部を首里城に移動し、南に首里を掃
討シ、配置ヲ完了ス
五月二日、總攻撃を命令下達セラレ、十載遇、勇士は奮然と奮大ニ撃テ、
旅團は四月期に独混中隊十五軒隊を以て、翁長率地隊より大山に向ふ